

のぎく

＊
第123号
平成31年1月1日発行
＊

編集人 機関誌編集委員 発行人 公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター内
TEL (078) 242-4644 FAX (078) 242-4069
E-mail:h-ikuseijimukyoku@honey.ocn.ne.jp http://www.tsunaguiku.sakura.ne.jp/

RPM講演会(ラピッド・プロンプティング・メソッド) 2018年6月8日

ソマ氏が独自に作り上げた、自閉症を持つ人への新たな教育方法



鈴木 麻子氏プロフィール

神奈川県生まれ。カンザス大学にて音楽療法士修士号を取得後、アメリカで主に自閉症の子供や大人を対象に音楽療法士の仕事に約20年間携わってきた。知的障害を伴う自閉症の診断を受けた娘は、基本的な発語があっても会話になら

ず、自閉症児向けのクラスでは10歳になっても幼稚園または小学一年生程度の教育を受けていた。

その頃ソマ・ムコバディエイの書いた教則本を参考にしながらラピッド・プロンプティング法(RPM)で教え始めたところ、娘が文字盤を使って適切な返答ができることがわかった。2015年にソマの元でRPM指導者としての訓練を受け、現在はアメリカで生徒の指導もしている他、日本でRPMについての情報を広めるために活動をしている。

<http://www.njmusictherapyandlessons.com/ja/home/>

参加された方からの感想

- 初めてRPM講演会に参加して目からウロコでした。重度の自閉児が聞いていないような状態をしてもしっかりこちらの言っていることを理解しており、可能性がたくさんあることがわかりました。興味深い研修でした。もっと勉強したいです。又講演会があれば参加したいです。ありがとうございました。未就学児の支援をしているのでお母様にも伝え支援につなげていければと思っております。
- RPMが教育法であると聞き驚きました。そして一番大切なことはその子の能力を信じること、その年齢の学習をすることと聞き、やる気が出てきました。今まで子どもに何かを教え、教育をしたことがありませんでした。これからは、簡単なことを教えるぐらいかなと思っていましたが、定型発達の子どもが今の年齢で学ぶ事をしっかりと教えて共に成長していきたいなと思いました。
- 何歳からでもできるということはとても励みになりました。日本でもっと広まっているいるな所で講演会が開催されることを願っています。
- 理解していない、わかっていない、見ていない、聞いていないの思い込みから傷つけていたのだと改めて反省の時間もいただきました。
- 今日の講演会の内容を聞いて原点に戻れた気分になりました。RPMの方法は必要な点を重点的に覚え、話し方、伝え方、ポイントなどを、子どもを信頼しつつ、解っていると思ううえで話すことが重要だとしました。

目次

子どもの可能性を信じて	2	新任相談員研修会を受講して 参加者からの声	9
地域自慢 in 明石地区	2	平成30年度地域生活援助者養成講座 参加者からの声	10
平成29年度 主要事業報告	3	障害基礎年金学習会を受講して 参加者からの声	10
平成29年度 正味財産増減計算書	5	のぎく探検隊が行く!	11
兵庫県へ来年度予算要望書を提出	6	のぎくさん	11
知的障害者疑似体験事業 実施団体一覧	7	編集後記	11
成年後見人養成講座を受講して 参加者からの声	8	公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会組織一覧表	12
第62回兵庫県知的障害者福祉大会を開催して	9		

子どもの可能性を信じて

公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会 井上 三枝子
理事長



平成30年6月8日RPM（ラピッド・ブロンプティング・メソッド）講演会を行いました。（1ページ参照）RPMとは自閉症・知的障害を持つ人への新たな教育方法です。それぞれの自閉症の特性を理解し、必要な援助を駆使しながら、もてる能力を高めていきます。今回の講演会には約160名の方が参加しそのうち会員以外の方も40名ほどが参加され関心の深さがうかがわれました。口から出てくる言葉は必ずしも意図的なものではないこと、いわゆる問題行動の多くは、意思が伝わらないためのフラストレーションが原因であることなど、自分の想いが相手に伝わらないもどかしさ・苛立ちが行動に表れているということをお聞きし脳と身体につながりにも問題があることが分かりました。今回の研修会で、RPMを取り入れ学習することで衝動性や問題行動が軽減され、コミュニケーションがとれパソコンやタブレットを使えるようになった人がたくさんいることをお聞きし子育てに希望が持てた方もたくさんいるのではないのでしょうか。

また、近年各地で啓発キャラバン隊が知的障害や自閉症についての理解をすすめています、このような啓発とあわせて本人の力を引き出し意思を伝える機会が増えればもっと理解も進み権利擁護にも繋がると期待しています。

地域自慢 in 明石地区

明石市は東経135度日本標準時子午線上にあって、明石海峡を隔てた淡路島を結ぶ明石海峡大橋を望む瀬戸内式気候の温暖な降雨量の少ない住みやすい地域です。

また今年度より中核市として独自の施策を進め、特に「やさしい社会を明石から」を目標にした福祉についての先進的な取り組みが進み、市民の皆様の目線も変化していることが感じられます。

来年度は市制100周年、明石城築城400周年を迎え全国B-1グランプリが計画されています。

昨年の西日本B-1グランプリに続き「やさしいグランプリ」をめざし障害のあるなしにかかわらず、楽しめる企画を考えています。

海産物や農産物にも恵まれおいしい食べ物が一杯の明石市においで下さい。



平成29年度 主要事業報告

1 知的障害者に関する研修

(1)権利擁護委員会

開催日	場所	参加者	内容
H30年1月17日(水)	県福祉センター	42名	「災害時における在宅の知的障害者の避難誘導のあり方」
H30年2月9日(金)	県学校厚生会館	53名	「座間キャラバン隊による啓発公演」

(2)知的障害者相談員研修会

開催日	場所	参加者	内容
H29年11月15日(水)	県福祉センター	75名	「成年後見制度と法的諸問題」 「知的障害者の地域生活と権利擁護」
H29年12月21日(木)	同上	91名	「障害者グループホームへの願い」 「障害者グループホームの取組み」
H30年1月15日(月)	県民会館	39名	「知的障害のある子の教育・子育て」
H30年1月17日(水)	県福祉センター	42名	「災害時における在宅の知的障害者の避難誘導のあり方」
H30年2月9日(金)	県学校厚生会館	53名	「座間キャラバン隊による啓発公演」

(3)専門部会研修会

〔高齢化対策部会〕

開催日	場所	参加者	内容
H29年11月15日(水)	県福祉センター	75名	「成年後見制度と法的諸問題」 「知的障害者の地域生活と権利擁護」

〔地域生活・就労支援部会〕

開催日	場所	参加者	内容
H29年12月21日(木)	県福祉センター	91名	「障害者グループホームへの願い」 「障害者グループホームの取組み」

〔施設・事業所部会〕

開催日	場所	参加者	内容
H29年12月13日(水)	尼崎市	11名	「施設の視察」JOMOIYARI PLUS ONE

〔本人活動支援部会〕

開催日	場所	参加者	内容
H30年2月25日(日)	西宮市総合福祉センター	74名	「よさこい踊り」

〔学齢期部会〕

開催日	場所	参加者	内容
H29年9月13日(水)	県福祉センター	32名	「キッズニア甲子園を知ろう」
H30年1月15日(月)	県民会館	39名	「知的障害のある子の教育・子育て」

(4)障害基礎年金学習会

開催日	場所	参加者	内容
H29年7月19日(水)	あわじ特別支援学校	30名	「障害基礎年金制度と申請の仕方」
H29年10月17日(火)	赤穂特別支援学校	31名	「同上」
H29年10月24日(火)	加西特別支援学校	28名	「同上」
H29年11月2日(木)	上野ヶ原特別支援学校	33名	「同上」

(5)成年後見人養成講座

開催日	場所	参加者	内容
H29年7月10日(月)	三田市総合福祉 保健センター	33名	「知的障害者をめぐる福祉制度」
		35名	「成年後見制度の概要」
H29年7月28日(金)		38名	「知的障害者の理解と支援」
		41名	「成年後見制度と審理」

開催日	場 所	参加者	内 容
H29年 8月9日(水)	三田市総合福祉 保健センター	34名 35名	「成年後見業務～事例を通して」 「成年後見業務～身上監護と財産管理」
H29年 8月24日(木)		41名 39名	「成年後見制度と法的諸問題」 「知的障害者の地域生活と権利擁護」

開催日	場 所	参加者	内 容
H30年 1月12日(金)	高砂市「ユアアイ 帆っとセンター」	25名 27名	「知的障害者をめぐる福祉制度」 「成年後見制度概論」
H30年 1月18日(木)		27名 28名	「知的障害者の理解と支援」 「成年後見制度と審理」
H30年 2月1日(木)		31名 31名	「成年後見業務～事例を通して」 「成年後見業務～身上監護と財産管理」
H30年 2月16日(金)		29名 28名	「成年後見制度と法的諸問題」 「知的障害者の地域生活と権利擁護」

(6)障害児等職業体験事業

平成29年10月14日(土)16:00～、「キッザニア甲子園」 参加者422名

2 知的障害者に関する普及・啓発

(1)第61回兵庫県知的障害者福祉大会

平成29年10月26日(木)10:30～、「たつの市総合文化会館」 参加者669名

(2)第13回兵庫県障害者芸術・文化祭(H29兵庫県障害者福祉大会)

平成29年12月16日(土)13:00～、「丹波の森公苑ホール」

理事長表彰「知的障害者就労表彰」30名(企業10年表彰15名、20年表彰15名)

(3)第66回兵庫県社会福祉大会

平成29年10月27日(金)13:00～、加西市民会館

兵庫県知事表彰「障害者自立更生者」 育成会6名

兵庫県社協会長賞「社会福祉事業功労者」 育成会2名

3 知的障害者に対する支援事業

(1)知的障害者相談事業 相談日87日、件数24件(H28 98日、27件)

(2)地域生活援助者養成講座及びバージョンアップ養成講座

〔地域生活援助者養成講座〕

開催日	場 所	参加者	内 容
H29年 7月13日(木)	県福祉センター	26名	「知的障害者福祉」
		26名	「知的障害者をめぐる福祉制度」 「知的障害者の人権」
H29年 8月2日(水)	同上	27名	「知的障害者の地域生活支援～相談支援のあり方」
		29名	「知的障害者の地域生活支援～グループホームによる支援のあり方」
H29年 8月17日(木)	同上	25名	「知的障害者の健康管理」
		24名	「親の想い」
H29年 8月29日(火)	同上	30名	「援助者としての実践的な支援技術」
		33名	「知的障害者への支援の基本」

〔バージョンアップ養成講座〕

開催日	場 所	参加者	内 容
H29年 9月14日(木)	県福祉センター	30名	「知的障害の特性に応じた支援策～こころのケア」
		20名	「知的障害者の特性に応じた支援策～ワークショップ」

(3)在宅重度障害者生活環境改善資金貸付 貸付件数1件(H28 1件)

4 その他

(1)賛助会員の募集 会員数39名、賛助会費337,000円(H28 37名、244,000円)

(2)育成会改革プランの策定 今後10年間に取組むべき行動指針

平成29年度 正味財産増減計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 経 常 収 益				
基本財産運用益	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0
受取会費	6,010,666	1,502,667	1,502,667	9,016,000
賛助会費	337,000	0	0	337,000
事業収益	0	3,737,653	0	3,737,653
受取補助金等	12,730,000	120,000	1,300,000	14,150,000
受取負担金	2,390,700	0	0	2,390,700
受取寄付金	627,000	0	0	627,000
雑収益	229,258	40,000	221,854	491,112
経常収益計	22,324,624	5,400,320	3,024,521	30,749,465
II 経 常 費 用				
事業費用	22,563,628	5,350,094	0	27,913,722
管理費用	0	0	2,076,209	2,076,209
経常費用合計	22,563,628	5,350,094	2,076,209	29,989,931
経常増減額	△ 239,004	50,226	948,312	759,534
経常外増減額	0	0	0	△ 2
他会計振替額	0	0	0	0
一般正味財産増減額	△ 239,004	50,226	948,312	759,532
一般正味財産期首残高	0	0	0	6,715,799
一般正味財産期末残高	△ 239,004	50,226	948,312	7,475,331
指定正味財産期末残高	0	0	0	132,682,000
正味財産期末残高				140,157,331

安心を
お届けします

生活サポート総合補償制度

AIGの普通傷害保険

① 病氣やケガまたはその検査のため入院したとき
入院給付金 (付添介護保険金、差額[※]外費用、入院諸費用、入院一時金)

② 他人にケガをさせたり、他人の物を壊して法律上の賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険 (限度額1億円)

③ ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術の各種保険金

④ 病氣で死亡したとき
葬祭費用保険金

<問い合わせ先>
(2018年1月1日以降)

AIG損害保険株式会社
大阪プロチャネル営業部
ジェイアイシーウエスト株式会社

☎ 0120-177-294

一般社団法人全国知的障害児者生活サポート協会
一般社団法人 兵庫県知的障害児者生活サポート協会

地震・噴火・津波危険補償・特約セット

兵庫県へ来年度予算要望書を提出

平成30年8月16日(木)、兵庫県知事あてに平成31年度予算要望書を提出し、同9月18日(火)、兵庫県関係部局と意見交換を行いました。

〔要望内容〕

1 権利擁護

- (1)知的障害者福祉法の見直し(知的障害の定義づけ、療育手帳の全国統一化と用語の見直し)
- (2)知的障害者の理解促進と差別解消
 - ①疑似体験啓発活動「ひょうご“つなぎ隊”」の後方支援
 - ②県下各警察署での「知的障害者の特性・行動特性」に関する教育実施
 - ③全小中学校で知的障害児者理解のための疑似体験学習(教員を含む)の実施【新規】
 - ④知的障害者が公務に従事できるよう欠格条項の撤廃 等
- (3)知的障害者の虐待防止
 - ①虐待事案が発生した場合における県民への公表等
 - ②県立特別支援学校における体罰(虐待)の再発防止
 - ③障害者虐待防止法の見直し(学校、保育所等、医療機関、官公署等の通報義務化) 等
- (4)成年後見制度の充実
 - ①市町に対する中核機関の設置や地域連携ネットワークの整備指導
 - ②権利擁護センター(成年後見支援センター)の全市町での早期設置と財政的支援
 - ③市民後見人の養成 等

2 所得保障

- (1)すべての療育手帳所持者への適正な障害基礎年金の支給
 - ①障害基礎年金の再審査に当たっては従来の年金等級を引き下げないこと【新規】
 - ②専門的診断を行う「指定医」の各市町への配置
 - ③就労により支給額の減額や障害等級を下げないこと
 - ④知的障害者の年金の再認定手続き(診断書の提出)の廃止
- (2)年金額の引上げ

3 障害福祉サービスの充実

- (1)知的障害児者等への見守り体制の強化
- (2)相談支援体制の充実
- (3)医療的ケア児者に対する支援【新規】
- (4)強度行動障害のある人への専門相談
- (5)グループホームの充実
 - ①家賃補助の恒久化、②開設準備費等の補助引き上げ、③スプリンクラーの設置義務の緩和、④重度障害者に対応するグループホームの設置、⑤マッチングと税制上の優遇措置 等
- (6)移動支援サービスの充実(ガイドヘルパーのスキルアップ研修の実施と報酬額の引上げ)
- (7)知的障害者に特化した施設設置 等

4 雇用・就労対策

- ①県・市町での正規職員としての積極的雇用、②A型事業所の適正運営指導【新規】

5 県単独制度(事業)

- ①障害児等職業体験事業の継続実施、②県東部の障害者リハビリテーションセンターの設置

6 教育の充実

- ①教師の資質向上、②就職率の向上、③施設・設備の充実、④特別支援学校の過密化対策
- ⑤高等部卒業後の専攻科の設置、⑥高校への特別支援学級の設置、⑦看護師の配置 等

7 その他(①災害時の知的障害者の避難支援【新規】、②知的障害者への交通費助成)

知的障害者疑似体験事業 実施団体一覧



	団体名 (地区育成会名)	構成人数 内訳	所在地・連絡先	活動状況	
				活動エリア	講演等
尼崎市	まんまるはーと (尼崎市育成会) ●代表者 井上三枝子	育成会 10名	〒660-0893 尼崎市西難波町2-3-10 TEL:06-6419-3897 FAX:06-6419-3899 E-mail:ikuseikai.ama@y3.dion.ne.jp	尼崎市内	尼崎南警察署 関西国際大学 PTA、民生委員研修会
	体験事業の手法(特色)		写真やグッズを使用したワークを通して支援の方法を知ってもらう		
西宮市	輪・和・WA (西宮市育成会) ●代表者 近藤真由美	育成会 17名 市社協 6名	〒663-8241 西宮市津門大塚町1-47 TEL:0798-33-7713 FAX:0798-33-7743 E-mail:teni-tewo@nishi-ikusei.jp	西宮市内	地区懇談会(各小学校区) 市社協主催イベント
	体験事業の手法(特色)		写真やグッズを用いた疑似体験		
宝塚市	宝塚すみれ隊 (宝塚市育成会) ●代表者 浅山みゆき	育成会 17名 その他 1名	〒665-0825 宝塚市安倉西4-1-7 TEL:0797-86-9883 FAX:0797-86-9299 E-mail:takarazukaikuseikai@peace.ocn.ne.jp	宝塚市内	宝塚市役所 PTA・民生委員研修会 まちづくり協議会
	体験事業の手法(特色)		①グッズを使用した疑似体験 ②寸劇による特性の対応マニュアル ③市役所、民生委員等対象別に対応		
明石市	まねっこ隊 (明石市育成会) ●代表者 曾我 典子	育成会 10名	〒673-0882 明石市相生町2-7-12 明石市立勤労福祉会館「あすく」内 明石市手をつなぐ育成会 広報部 TEL:090-8654-0198 FAX:078-945-5519 E-mail:fumikosoga@axel.ocn.ne.jp	基本 明石近郊	幼稚園PTA 神戸学院大で学生へ 民生委員研修会 障害者の父兄 作業所の研修会(一般向)
	体験事業の手法(特色)		写真やグッズを用いて疑似体験をしてもらい映像やイラストで分かりやすく解説しています。		
たつの市	ぴーす&ピース (たつの市育成会) ●代表者 矢野 一隆	育成会 11名 行政 13名 一般 11名 社協 1名	〒679-4129 たつの市龍野町堂本139-8 TEL:090-1892-3164 FAX:— E-mail:uuki67219@leto.eonet.ne.jp	市内30% 県内市外40% 県外30%	29年度49回 30年度23回 小中学校・施設職員&保護者・ 自治会・民生委員・PTA・ 地域の人権学習など
	体験事業の手法(特色)		①参加者全員体験 ②2名~何人でも可 ③講演時間45分~2時間半まで可 ④啓発隊結成の為の啓発活動も行っている ⑤発達障害・学習障害疑似体験もあり		
猪名川町	いなキャラ (猪名川町育成会) ●代表者 伊藤万里子	育成会 11名 役場 2名 社協 3名 一般町民 7名	〒666-0236 川辺郡猪名川町北田原字南山14-2 猪名川町社会福祉協議会 障害者福祉センター内 TEL:072-766-2525 FAX:072-766-0900 E-mail:i-shoufukushi@mbr.nifty.com	猪名川町	人権関連セミナー 中学校教職員・生徒7・ PTA 民生委員児童委員協議会
	体験事業の手法(特色)		写真やグッズを用いた疑似体験		
川西市	川西市知的障害啓発隊 (川西市育成会) ●代表者 森本 睦美	育成会有志 3名	〒666-0002 川西市滝山町7-7 TEL:072-786-9244 FAX:072-786-9244 E-mail:ikuseikai4006@yahoo.co.jp	川西市	民生委員 福祉委員研修会 市社協の出前講座 グループ
	体験事業の手法(特色)		①写真やグッズを用いた疑似体験 ②パワーポイント知的障害者の困っていること助けになること		
伊丹市	ばする (伊丹市育成会) ●代表者 小松しのぶ	育成会 5名 行政 2名 その他 4名	〒664-0015 伊丹市昆陽池2-10 伊丹市障害者福祉センター2F TEL:072-770-5410 FAX:072-770-5610 E-mail:ikuseikai2@kmh.biglobe.ne.jp	伊丹市内	伊丹市障害者福祉センター 伊丹市立総合教育センター
	体験事業の手法(特色)		①スライドを使っての体験(ご当地キャラ) ②グッズを用いての体験 ③学習障害の人の見え方		
淡路地区	おひさま隊 (南あわじ市育成会) ●代表者 岡畑 玲奈	育成会 2名 その他 5名	〒656-0492 南あわじ市市善光寺22番地1 南あわじ市役所 市民福祉部福祉課内 TEL:0799-43-5216(肥田) FAX:0799-43-5316 E-mail:fukushi@city.minamiawaji.hyogo.jp	淡路島内	南あわじ市社会福祉協議会 洲本市市民正委員・児童委員会 おのころハウス
	体験事業の手法(特色)		グッズを用いて、わかりやすくした疑似体験		
三田市	(仮)三田知的 障害啓発隊 (三田市育成会) ●代表者 三木 尚美	育成会有志 5名 基幹相談支援センター 2名 障害福祉サービ 事業所 2名 社協ボランティア 1名 市行政 1名	〒669-1533 三田市三田町29-14 TEL:079-563-2933 FAX:079-563-2933 E-mail:kazu_nagai@zeus.eonet.ne.jp	三田市	市内ヘルパー研修会 かるがも園保護者 特別支援学級先生向け 社協ヘルパー研修
	体験事業の手法(特色)		①疑似体験の他 ②親による子育ての体験談		

成年後見人養成講座を受講して 参加者からの声

講座1「知的障害者をめぐる福祉制度について」

- 育成会の事務局に配置されただけで、時代背景や歴史を知らなかったのが、自分の勉強になりました。こういった流れを知らずに、これからのことを考えることはできないと思いました。こういった部分をかみ砕いて学校教育の場で伝え、考える場があればより一層共生社会が進んでいくのではと感じました。勉強会として一般にも門戸を広げていただきたいと思いました。



講座2「知的障害者の権利擁護と成年後見制度の概要について」

- 親なきあと、障害を持った子が兄弟姉妹に負担をかけず生活していくために、どんな公的支援があるのか知りたいと思い参加、いろいろ教えていただき参考になった。得た知識を他の人にも広げていきたいと思った。

講座3「知的障害者の理解と支援について」

- 理論と実践（日々の施設運営）が全くぶれることなく、とてもわかりやすく、たくさん勉強させていただきました。有意義な2時間でした。可能ならば、関わっておられる（運営されている）施設の見学や支援員さんの話をお聞きするなどの機会があれば…と思いました。

講座4「成年後見制度と審理」

- 実際昨年亡くなった私の親に約7年家庭裁判所が選任した、司法書士が後見人となりました。相続が後発生することになりますので、利害関係にある人が後見人につくことは難しい問題です。

講座5「成年後見業務～事例を通して～」

- 事例を基に説明いただき、とてもわかりやすかったです。また、資料についても『相談者に説明すべき事項』が大変参考になりました。印象深かったのが、本人を支える支援者チームがどの人にもあり、役割分担と連携を図ることで、本人の権利を守ることができる。支援チームの中心には本人がいることをしっかりと認識する必要があるということです。後見制度の活用は「本人の利益を守るため」ということが、今回の研修で再認識できました。

講座6「成年後見業務～身上監護と財産管理～」

- 経験の中から具体的に大変詳しくお話をいただきありがとうございました。後見制度というと財産管理を主として考えていましたが、本人の生活の向上を見守ることこそ大事な仕事だと良くわかりました。“立ち位置は、あくまでもご本人である”という言葉がとても心に残りました。

講座7「成年後見制度と法的諸問題について」

- わかりやすく良かった。勉強になった。何が問題なのか。人が生きていくには、お金は生命にもかかわるものだと思います。自分の生命を自分で生きていけないというのはちょっと違うのかなと思います。どんな状態であっても、その方と関わることによって、何か意思表示できるものがあるでしょう。普段関わらない人がお金だけ管理をするのはいかなものか。

講座8「知的障害者の地域生活と権利擁護」

- 弁護士の先生は、具体的でメリット、デメリットがわかりやすかった。全てにはっきり答えてくださった。弁護士に相談するのは心強いと感じた。利用促進法、支援信託など詳しく聞けた。

第62回兵庫県知的障害者福祉大会を開催して

明石地区手をつなぐ育成会

会長 四方 成之

2018年10月18日に明石市民会館大ホール(アワーズホール)にて県下各地からご来賓、会員の方々712名の参加をいただき盛大に開催することができました。

講演もご要望の多かった泉明石市長の福祉にかける熱い思いを語っていただき、講演最後の「福祉を世の光に」～私たちの町は、もっとやさしくなれる～ともに頑張りましょう!の言葉に勇気づけられました。

また関西福祉大学谷口教授の知的障害者の差別解消と権利擁護についての講演では、差別と虐待の循環・増幅を実例も交え鋭く問題提起をしていただきました。

「だれもが尊重され普通に暮らせる社会をめざして」の目標はそう簡単に達成されるものではありませんが、育成会の理念として高く掲げ共に手をつなぎ歩みましょう。

最後に「明石焼き」はいかがでしたが、ご協力をいただいた育成会会員の皆様関係者の皆様本当にありがとうございました。



左から
加藤 智子様・白樫 教様・様・山畑 佳子様・
古田 弘子様・安村 真紀様

新任相談員研修会を受講して 参加者からの声

講話「知的障害者相談員の役割について」

- 新任の相談員です。先日初めて相談員として相談受付の場に同席しましたが、どなたも相談に来られなかったので、未経験のままです。相談を受ける前に心構えや当日の準備物など学ぶことができ、大変参考になりました。新しい制度についても自分の知識として、今後役に立てたいと思います。
- 相談員の基本的な姿勢や障害者福祉施策の変遷が再確認できて良かったです。共感したり、受容することは心がけていますが、関係機関との連携を丁寧にしなければ…と反省しています。相談して良かったと思ってもらえるよう努力したいと思いました。



講話「相談の心構えと仕方」

- いつもお目にかかるのですが、毎回違う内容で勉強、経験されていることを聞かせていただき、その時だけが感動します。(時間と共に忘れてしまうのが残念) グループごとで話し合うのがお互い親しく研修できて楽しかった。じーっと座っているだけでなく良い内容でした。ワークでは、いろいろな人と意見交換ができて参考になった。
- テンポの良いお話しぶりで飽きることなく、お話を聞くことができました。講師さんの人生経験も、とても心に響くもので、自分自身地域で民生・児童委員として、いろいろな子どもたちに関わっているので自分の感覚も敏感にアンテナをしょって関わっていきたいと思いました。自分を知ったうえで、相手の方の背景を含め、よく理解をするということを大切に相談に携わりたいと思います。



平成30年度地域生活援助者養成講座 参加者からの声

第1講座「知的障害者福祉について」

日々の支援の中で、悪い意味での平等になってしまったり、ご本人の思いを置き去りに、先回りをしてしまったりということがないように思います。“記憶に残る支援”という意味でも、ご本人の希望を叶えたくても、費用や安全を考えると「この位で良いだろう」と、こちら側が満足してしまっている気もします。職場で少しずつ声をあげていきたいと思います。

第2講座①「知的障害者への支援制度について」

区分によって、どのサービスが利用できるかの一覧を把握できていなかったのが、ためになった。共同生活援助のサービスについて、働いていても、しっかりと理解できていない部分が多く、今回の講義で、人員基準や運営基準を理解でき、支援制度を理解した上で、今後は働くことができればと思う。

第2講座②「知的障害者の人権について」

何の資格もなしに就職できる。障害福祉事業従事者と採用の基準が定めにくい状況の中でも雇用せざるを得ない苦悩は日々感じます。この状況で、障害者の人権を守り抜き、続けることの重さを痛感します。

第3講座「グループホームによる支援のあり方について」

新しい「シゲキ」を受けました。実態は、全く不十分な我が法人の防災マニュアルであることが露呈したことを恥ずかしく思います。マニュアルの見直しと充実と災害の種類毎の実際的なものに仕立て直しをしなければ、思いを新たにしています。

第4講座「知的障害者への相談支援のあり方について」

短所（苦手なこと）も見方や考え方を変えれば、力となりえることに気づかせていただきました。この方はこういうひとだと、決めつけてしまうことがよくありますし、障がいたからとあきらめてしまうこともあります。常々失礼なことだと思っているので、自身の意識も変えていきたいと思っています。

第5講座「知的障害者の健康管理について」

「てんかん」は、今まで見たことがなく、あまりどのように対応をするのが良いのか把握できていなかったのが、慌てることなく利用者さんの安全を確保することが第一なんだと理解することができた。実際に事が起きたら、自分が混乱するかもしれないけど、この講座のことを思い出して、臨機応変に対応したいと思う。

第6講座「知的障害者への心のケアについて」

体験しながらのワークは、良い経験になりました。「自分だったら」「自分の家族だったら」を考えて支援するにはしていますが、中々難しいです。それでも今日の感覚を忘れず関わっていききたいと思います。又、自分のストレスも小出しにしたり、分かち合ったりしていこうと思っています。

第7講座「知的障害者への支援の基本について」

人には誰も感性があり、障がいを持っている人も素晴らしい感性があるんだと感じた。弱さや苦手なことなどネガティブなことに目が行きがちだが、捉え方を変え、ストレングス点を見つけると支援のやりがいや面白さに気づくことができるんだと感じた。

第8講座「援助者としての実践的な支援技術について」

自分の支援が相手に与える影響は大きく、支援者である自分が、自己覚知で苦手分野を意識することも学んだ。ネガティブな表現をポジティブな表現に変えていけるよう努力しようと思いました。



障害基礎年金学習会を受講して 参加者からの声

- 前年も年金の話聞いたのですが、忘れていたり、あまりわかってなかったことも確認できたのでよかったです。何度聞いても頭に入らないこともあったりして難しいですね。機会があれば何度でも聞きたいと思います。
- 評価基準の具体例がとてもわかりやすかったです。特に一人暮らしをするという設定で、考えていきたいと思えます。
- 市役所で「B2なので年金はもらえないだろう」と言われたのであきらめていたのですが、受給できる可能性があることを教えていただき、一筋の光が見えてきたように思います。具体的でとても分かりやすい説明でした。20歳の誕生日3ヶ月前後には診察を受けに行き、申請しようと思っています。

こばやし きよひろ
氏名：小林 潔浩

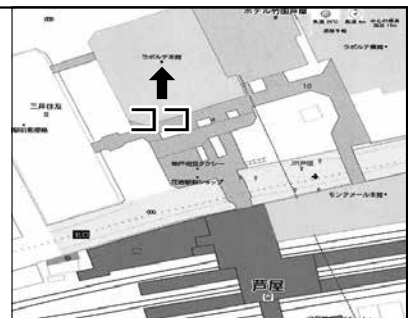
役職：社会保険労務士・社会福祉士・精神保健福祉士・
ストレスチェック実施者・

職場適応援助者（ジョブコーチ） 代表社員 理事長

住所：〒659-0093 芦屋市船戸町4-1 ラポルテ本館302
社会保険労務士法人トータル人事・労務オフィス
特定非営利活動法人むすび

TEL：0797-62-6690 FAX：0797-62-6691

アドレス：k_kobayashi@ac.auone-net.jp



◆ 公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会組織一覧表 ◆ (平成30年度)

	No.	地区名	地区育成会名	H30 会員数	会長 (理事長)名	〒	地区育成会住所	事務局TEL	事務局FAX
阪神南	1	尼崎	一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会	423	井上三枝子	660-0893	尼崎市西難波町2-3-10	06-6419-3897	06-6419-3899
	2	西宮	一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会	369	近藤真由美	663-8241	西宮市津門大塚町1-47	0798-33-7713	0798-33-7743
	3	芦屋	NPO法人 芦屋市手をつなぐ育成会	43	朝倉 己作	659-8501	芦屋市精道町7番6号 芦屋市福祉事務所内	0797-31-0670	同 左
阪神北	4	伊丹	NPO法人 伊丹市手をつなぐ育成会	159	下村 直美	664-0015	伊丹市昆陽池2-10 アイ愛センター内	072-770-5410	072-770-5610
	5	宝塚	一般社団法人 宝塚市手をつなぐ育成会	370	浅山みゆき	665-0825	宝塚市安倉西4丁目1番7号	0797-86-9883	0797-86-9299
	6	川西	NPO法人 川西市手をつなぐ育成会	87	森寺美由紀	666-0002	川西市滝山町7-7	072-786-9244	同 左
	7	三田	NPO法人 三田市手をつなぐ育成会	47	三木 尚美	669-1533	三田市三田町29-14	079-563-2933	同 左
	8	猪名川	猪名川町手をつなぐ育成会	35	多田 千景	666-0236	川辺郡猪名川町北田原字南山14-2 猪名川町社会福祉協議会内	072-766-2525	072-766-0900
東播磨	9	明石	明石地区手をつなぐ育成会	400	四方 成之	673-0882	明石市相生町2-7-12 明石市立勤労福祉会館 あすく内	078-945-5519	同 左
	10	加古川	加古川市手をつなぐ育成会	460	澤田きみよ	675-8577	加古川市加古川町寺家町177-12 加古川市総合福祉会館内	079-422-8899	同 左
	11	高砂	高砂市手をつなぐ育成会	45	光井 卓苗	676-0824	高砂市阿弥陀町南池520 育成寮内	079-448-0941	同 左
	12	東播磨	東播磨地区 手をつなぐ育成会	90	橋本 俊彦	675-0158	加古郡播磨町北野添1丁目2-59	078-943-0597	同 左
北播磨	13	西脇	NPO法人 西脇市手をつなぐ育成会	39	竹中 敏文	677-0025	西脇市大野175番地	0795-22-8149	同 左
	14	三木	NPO法人 三木市手をつなぐ育成会	55	近野 一弘	673-0743	三木市口吉川町裾原150番地	0794-88-2330	同 左
	15	小野	小野市ひまわり会	61	黒田みちる	675-1380	小野市王子町801 小野市社会福祉協議会	0794-63-2575	0794-63-5191
	16	加西	NPO法人 加西市手をつなぐ育成会	26	野田 英紀	675-2303	加西市北条町古坂1072-14 健康福 祉館3階 加西市社会福祉協議会内	0790-43-3870	同 左
	17	加東	加東市手をつなぐ育成会	5	大西ひとみ	673-1431	加東市社26 加東市社福祉センター内	0795-42-2006	0795-42-9039
	18	多可	多可町手をつなぐ育成会	50	吉本 優	679-1133	多可郡多可町中区靴屋434番地11	0795-32-3425	0795-32-4162
中播磨	19	姫路	NPO法人 姫路地区手をつなぐ育成会	183	山田 直恵	670-8501	姫路市安田4丁目1番地 姫路市役所 北別館7階	079-285-4810	079-285-4822
	20	中播磨	中播磨地区 手をつなぐ育成会	107	前川 好文	679-2311	神崎郡市川町上田中194-2 尾波様方	0790-26-0855	同 左
西播磨	21	相生	相生市手をつなぐ育成会	52	田中 文江	678-0031	相生市旭1丁目6-28 総合福祉会館内	0791-22-7167	0791-23-4596
	22	たつの	たつの市手をつなぐ育成会	138	矢野 一隆	679-4192	たつの市龍野町富永1005番地1	0791-64-3204	0791-63-0863
	23	赤穂	赤穂市手をつなぐ育成会	29	兼田 静子	678-0292	赤穂市加里屋81番地	0791-43-6833	0791-45-3396
	24	太子	太子町手をつなぐ育成会	28	内海 育子	671-1561	揖保郡太子町鷗341-1 NPO法人さわやかなの部屋内	079-277-6010	079-280-3250
	25	上郡	上郡町手をつなぐ育成会	45	小谷 亨	678-1292	赤穂郡上郡町大持278 上郡町役場健康福祉課内	0791-52-1114	0791-52-6015
	26	佐用	佐用町手をつなぐ育成会	44	木村 政照	679-5380	佐用郡佐用町佐用2611番地1 佐用町役場内	0790-82-0661	0790-82-0144
	27	宍粟	宍粟市手をつなぐ育成会	30	永峰 榮次	671-2554	宍粟市山崎町御名285-2 永峰様方	0790-62-5484	同 左
但馬	28	豊岡	NPO法人 はばたけ 手をつなぐ育成会(豊岡市)	64	中井佳与子	668-0031	豊岡市大手町7番9号	0796-24-3660	0796-34-6433
	29	美方	美方郡手をつなぐ育成会	79	坂本 和夫	669-6747	美方郡新温泉町三谷389-1 新温泉健康福祉事務所内	0796-82-3161	0796-82-3289
	30	養父	養父市手をつなぐ育成会	54	宮本 厚子	667-0021	養父市八鹿町八鹿1675 八鹿老人福祉センター内	079-662-7477	同 左
	31	朝来	朝来市手をつなぐ育成会	48	谷川 晃	679-3431	朝来市新井73番地1 朝来庁舎内	079-677-2702	079-677-2706
丹波	32	丹波	丹波市手をつなぐ育成会	94	谷口 望	669-3602	丹波市氷上町常楽209番地の1 丹波市社会福祉協議会内	0795-82-4631	0795-82-4519
	33	篠山	篠山市手をつなぐ育成会	41	西山 照美	669-2205	篠山市網掛301番地 篠山市社会福祉協議会内	079-590-1112	079-590-1123
淡路	34	洲本	洲本市手をつなぐ育成会	43	阿部 千絵	656-0027	洲本市港2番26号 洲本市健康福祉館3階	0799-24-5877	同 左
	35	淡路	淡路市手をつなぐ育成会	57	坪内 隆幸	656-2292	淡路市生穂新島8番地 淡路市健康福祉部地域福祉課内	0799-64-2510	0799-64-2564
	36	南あわじ	南あわじ市 手をつなぐ育成会	60	後藤 直子	656-0492	南あわじ市市善光寺22番地1	0799-43-5216	0799-43-5316
計				3,960					